令 和 7 年 度

教育功労者及び教育優良団体表彰
優れた教育活動表彰
優秀指導者表彰

受賞者（団体）名簿

島 根 県 教 育 委 員 会

令 和 7 年 度
教育功労者及び教育優良団体表彰式、
優れた教育活動表彰式並びに優秀指導者表彰式

次第

令和７年11月６日（木）
午後１時30分から
ホテル白鳥「鳳凰の間」

1　開　式　の　辞

2　式　辞

3　教育功労者及び教育優良団体表彰状授与

4　優れた教育活動表彰状授与

5　優秀指導者表彰状授与

6　来　賓　祝　辞

7　来　賓　紹　介

8　受賞者代表謝辞

9　閉　式　の　辞

令 和 7 年 度

教育功労者及び教育優良団体表彰

功績区分	氏　名 （団体名）	主　要　経　歴	功　績　の　概　要	住　所 （所在地）
学校教育	金山幸三 （77歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	益田市
学校教育	原　幹雄 （75歳）	元　公立小学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	出雲市
学校教育	澄田俊成 （74歳）	元　公立小学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	出雲市
学校教育	佐藤勇人 （72歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	松江市
学校教育	村上浩二 （71歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	松江市
学校教育	臼井　泉 （70歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	大田市
学校教育	齋藤雅典 （70歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	益田市
学校教育	陶山浩正 （70歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	奥出雲町
学校教育	村上謙武 （70歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	隠岐の島町
学校教育	岡﨑豊年 （66歳）	元　県立高等学校長	多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与した。	大田市
学校保健	春木伸二 （78歳）	現　松江市立古志原幼稚園園医 元　島根県立松江工業高等学校学校医	多年学校医として園児・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	松江市
学校保健	福山順一郎 （71歳）	現　出雲市立高浜幼稚園園医 現　出雲市立鳶巣幼稚園園医	多年学校医として園児・児童・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	出雲市

功績区分	氏　名 （団体名）	主　要　経　歴	功　績　の　概　要	住　所 （所在地）
学校保健	藤野有弘 （68歳）	現　島根県立大東高等学校 学校医 現　島根県立出雲農林高等学校 学校医	多年学校医として園児・児童・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	出雲市
学校保健	佐々木康介 （67歳）	現　江津市立江東中学校 学校歯科医	多年学校歯科医として生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	浜田市
学校保健	深田孝宏 （67歳）	現　松江市立宍道中学校 学校歯科医 現　松江市立来待小学校 学校歯科医	多年学校歯科医として園児・児童・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	松江市
学校保健	三原正義 （65歳）	元　出雲市立上津幼稚園園医 元　出雲市立大津幼稚園園医	多年学校医として園児・児童・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	出雲市
学校保健	山崎直子 （63歳）	元　大田市立鳥井小学校 学校薬剤師 元　大田市立志学小学校 学校薬剤師	多年学校薬剤師として児童・生徒の健康管理と保健衛生指導に努めるとともに、学校保健活動の充実発展に寄与した。	大田市
社会教育	高松地区寿会 連合会	昭和36年設立	世代間の交流活動を通じて地域の活性化に尽力し、社会教育の推進に寄与した。	出雲市
社会教育	じゃがいも 大作戦名人さん	平成17年設立	世代間の交流活動を通じて地域の活性化に尽力し、社会教育の推進に寄与した。	松江市

功績区分	氏　名 （団 体 名）	主　要　経　歴	功　績　の　概　要	住　所 （所在地）
文化財保護	井上寛司 （84歳）	元　松江市文化財保護審議会委員	松江市文化財保護審議会委員として、文化財保護活動に寄与した。	松 江 市
文化財保護	的野克之 （68歳）	現　松江市文化財保護審議会委員	松江市文化財保護審議会委員として、文化財保護活動に寄与した。	松 江 市

（注）上記の掲載順は、功績区分ごとに年齢順による。
　　同一年齢であれば五十音順による。

令和７年度

優れた教育活動表彰

1　学校（６校）

学　校　名	学校長氏名	表　彰　の　理　由
安来市立安来幼稚園	飯　塚　敏　子	令和６年度「島根県教育委員会人権教育実践モデル園」の指定を受け、実践テーマ（研究主題）を『互いの存在を認め合うやすぎっ子の育成～自分が好き、みんなが好きという気持ちを育むためには～』と設定し、これまでの教育活動の取組を人権教育の視点で見つめ直すとともに「自分が好き」「みんなが好き」という気持ちを育むため、援助の工夫を探り、保護者に向けてもどのような支援をすればよいかを中心に実践に取り組んだ。 研究では、「幼児の心情や育ちから、個々の様子に合わせた援助の工夫」と「幼児が互いの思いや考えを出し合える場の工夫」の二つを重点に取り組んだ。 研究実践では、「自分が好き」「みんなが好き」になる活動として、「みんなのきらりんみ～つけた」を合言葉に、自分のよさや友だちのよさを互いに見つけたときに見える形に残したところ、園児が振り返ったときに自分のよさに気づくことにつながった。また、この活動を通して、保護者と保育者の信頼関係もより強くなった。 このような取組は、今後の人権教育を推進する実践事例として、他園の取組の参考になるものである。

学　校　名	学校長氏名	表　彰　の　理　由
出雲市立荘原小学校	廣　澤　　守	令和６年度「第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会／第33回中国地区小学校社会科研究協議会研究大会／第35回島根県社会科教育研究大会　島根大会」に向けて、研究主題「ふるさとに学び　今を問い続け　共に明日をつくる子どもの育成　～し（主体的）・たい（対話的）・もん（問題解決的）で追究する社会科の授業づくり～」を掲げて、熱心に研究実践を進めた。 社会科を研究教科として、地域のミニトマト農家の栽培の工夫を調べる活動を取り入れたり、古くから地域に伝わる盆踊りの歴史について継承者の方にインタビューしたりするなど、身近な地域資源や地域人材の教材化を行うとともに、児童が追究したくなる問いの工夫や、問題解決的な学習の場の設定などに重点的に取り組んだ。 これらの取組の結果、児童が地域や社会と関わることに強い関心を持つようになるとともに、地域や社会の仕組みにも興味を持つようになった。 また、こうした身近な地域教材を活用した研究実践について、全国区での発表及び授業公開によって広く普及に努めたことにより、社会科教育の充実及び発展に寄与した。
出雲市立西野小学校	小　川　恵　美	令和６年度「第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会／第33回中国地区小学校社会科研究協議会研究大会／第35回島根県社会科教育研究大会　島根大会」に向けて、研究主題「地域に学び、自ら問い続け、よりよい社会を考える子どもの育成　～問いと知識を明確にした学習過程の在り方～」を掲げて、熱心に研究実践を進めた。 社会科を研究教科として、児童と社会的事象との出合いの工夫や、「対話」を通した深い学びの実践に取り組んだ。特に江戸時代に校区を流れていた新川について調べる学習については、単元のどのタイミングで見学を行うかや資料提示の方法など、児童の関心や疑問を大切にした単元構想のあり方について研究を深めた。 これらの取組の結果、児童は自ら進んで学習課題を設定するとともに、問題解決への意識の高まりがみられるようになった。 また、こうした身近な地域教材を活用した研究実践について、全国区での発表及び授業公開によって広く普及に努めたことにより、社会科教育の充実及び発展に寄与した。

学　校　名	学校長氏名	表　彰　の　理　由
出雲市立中部小学校	須　田　　勉	令和６年度「第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会／第33回中国地区小学校社会科研究協議会研究大会／第35回島根県社会科教育研究大会　島根大会」に向けて、研究主題「ふるさとに学び、今を問い続け、よりよい未来を創る子供の育成　～魅力ある教材から「問い」をもち、追究していく社会科の授業づくり～」を掲げて、熱心に研究実践を進めた。 社会科を研究教科として、児童が自分事にできる社会的事象の教材化や児童が社会認識を深めることができる単元構成の工夫などに取り組んだ。 特に、校区に本社を構え、児童が使用するタブレット端末を製造するパソコン工場を教材化したことにより、児童が社会的事象を学ぶ意味や価値について理解を深めるとともに、自分事として学習に取り組むようになった。 また、こうした身近な地域教材を活用した研究実践について、全国区での発表及び授業公開によって広く普及に努めたことにより、社会科教育の充実及び発展に寄与した。
吉賀町立柿木小学校	北　野　憲　民	令和５年度より「島根県教育委員会人権教育研究指定校」として、また「島根県教育委員会人権教育ＰＴＡ活動育成事業指定校」として、家庭・地域・学校が一体となって人権教育に取り組んできた。 特に、「対話を通した共有体験・合意形成の場づくり」に注力し、話合い活動をとおして安心して自分の考えを表出できる風土の醸成を図った。また、自己有用感や自己肯定感を高めるために、自らの力で学年や学校・地域をよくしていこうとする「共有体験活動」を大切にした。複数の学年で協力し合って企画・運営する「異学年プロジェクト」や、連続する２つの学年間で進級に向けた引継ぎを行う「ステップアップトーク」など、安心・安全な場の中で自分の思いを表現し、自分の役割を主体的に考え、取り組む力を育成した。 その結果、児童の主体性が高まり、児童一人ひとりに居場所のある学校・地域づくりに成果を挙げており、こうした取組は、多くの学校の参考になるものである。

学　校　名	学校長氏名	表　彰　の　理　由
安来市立広瀬中学校	吉　田　茂　延	「ふるさとを愛し人間性豊かにたくましく生きる生徒の育成」を教育目標に掲げ、生徒の郷土愛と主体的な学び、そして未来の自分を見つめる態度を育む実践を行うなど、地域の特色を生かした教育活動に取り組んでいる。特に、「総合的な学習の時間」において、生徒が地域の様々な自然や人の営みからふるさとのこれからを考える「ふるさと教育」と、ふるさとについて学ぶことを通して自分の生き方を考える「生き方教育」を融合した教育活動に力を入れている。 生徒が様々な人の多様な価値観や人生観から刺激を受けて、「将来どんな人生を送りたいか」について考える態度を身につけられるよう、地域課題を探究する場として、地域行事参加やボランティア活動、語り合いの場「生き方トーク」、職場体験といった地域住民や企業・団体等と関わる機会を設けた。こうした取組の結果、生徒の成長のみならず、地域社会の活性化や意欲の向上にもつながった。 地域と学校が結び付いた取組は、中学校における「ふるさと教育」や「キャリア教育」と「総合的な学習の時間」のあり方を考えるうえで大いに参考になるものである。

（注）上記の掲載順は、原則、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、かつ建制順による。

2　個人（10名）

氏　　名	所属名・職名	表　彰　の　理　由
原　田　美　芽（はらだ　みか）	出雲市立平田中学校 事務リーダー	東部事務支援グループ長として、中学校区の事務職員に対して法令改正、運用についての確認、事例研修、事務処理システム研修等を行い、事務職員の資質の向上を図った。また、経験の浅い事務職員に対しては、勤務校に出向いて直接指導するなど事務支援を行った。 平田中学校においては、予算が削減される中、事務処理の効率化や紙媒体の使用を削減してメール配信等を活用することにより経費削減に努めた。部活動顧問には教育バスの計画的な活用を促すとともに、各部の状況を把握して予算を振り分けるなど学校教育のスムーズな運営に尽力している。 また、管理職に対しては、行事や教育活動の見直しについて、予算面や法令、近隣の学校の状況などの情報を収集して助言するなど、学校経営を行ううえで大いに貢献している。 所属校のみならず、広範囲で指導力をもって臨む姿は、後進の範となるものである。

氏　　名	所属名・職名	表　彰　の　理　由
藤　井　政　之（ふじ　い　まさ　ゆき）	島根県立松江東高等学校 教諭	県教育委員会が定める県立高校魅力化ビジョン内で松江東高等学校に求められた特色化と関連付け、研究開発を進めた文部科学省指定「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の成果を生かし、他校のモデルとなる地域課題解決型学習の組織対応を構築し運用した。 組織対応の具体として、プロジェクト全体を見渡したプログラムの整理・発展、継続的にプロジェクトを運用するためのプロジェクト評価と振り返り、教職員の負担軽減とプログラム活性化を目指した校外組織との連携のあり方の工夫、プログラムを運用する教職員のスキルアップを目指した資料整理と運用を行った。 これらの取組を行うにあたり、過年度の実践とその課題や発展の方向性について各種報告書をもとに、学校のグランドデザインと照らし合わせながら理解を深めた後、プロジェクトを実践しつつ課題把握と改善を着実に進めた。 こうした取組は、地域連携に積極的な生徒を育てるとともに、プログラムを理解し運用できる教職員が増え、実践における教職員の負担感の軽減にもつながっており、本県の教育の充実・発展に資するものである。
松　浦　佐代子（まつ　うら　さ　よ　こ）	出雲市立平田中学校 栄養教諭	出雲東部ブロックの複数の学校に出向き、バランスの良い食事、朝食の大切さなど健全な食生活の指導を通して、成長期である児童生徒の食生活の改善を図っている。 平田中学校においては、家庭科教員と連携して一週間の朝食作りを実践し、生徒に保護者の苦労を体感してもらうとともに、感謝の心を育んだ。 給食の献立作成では、近年の物価高騰を受けて材料の仕入れ先や使用する材料を工夫することにより、給食の質、量、カロリー、食費の維持に努めるとともに、なるべく給食を食べてもらうためアレルギーのある児童生徒には代替食を準備した。 また、長年にわたり、島根県立大学看護栄養学部の学生の教育実習を受け入れ、指導案の作成段階から丁寧に指導し、一人でも多くの後輩の人材育成につながるよう尽力している。 栄養教諭としての情熱と力量、指導力をもって臨む姿は、後進の範となるものである。

氏　　名	所属名・職名	表　彰　の　理　由
吉　田　良　幸（よし　だ　よし　ゆき）	島根県立松江養護学校 教諭	令和４年度からは、松江養護学校の分掌組織に新設された「地域交流推進部」の部長として、令和６年度からは、高等部総合コース作業班チーフとして、地域とつながる力を発揮し、生徒の良さやできることに視点をおいた作業学習の充実に取り組んでいる。 地域の企業、大学、農業・林業・漁業の関係者と連携・協働して、先進的な作業学習を展開しており、学習の中で生徒が廃棄されるゆずやヒノキを活用したアロマオイルの製造及び老舗旅館への納品、廃棄生物アカエイを活用した食品開発、作業学習の店舗での「アカエイバーガー」の販売等を行う際に支援をしている。 また、企業の人手不足の問題に対し、乃木校舎の清掃サービス班の生徒が定期的に路線バスや無人駅の清掃を行っている。令和６年度からは、地域の就労支援事業所で行っているコーヒー豆のミル・袋づめ作業を担い、卒業後のスムーズな就労に繋げる工夫も行っている。 地域の課題解決に向けた学習や地域への貢献活動を通して、「地域とともにある学校」の良さを活かす特色ある教育活動を牽引しており、こうした取組は、他の教職員の範となるものである。

氏　　名	所属名・職名	表　彰　の　理　由
小松正道（こまつ まさみち）	島根県立安来高等学校 教諭 （フェンシング担当）	令和７年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 2025」において、会場地実行委員会に派遣され、担当競技の準備・運営において重要な役割を果たした。 全国高体連専門部や全国競技団体、各高校との調整、競技役員・運営役員・補助員の養成計画策定並びに養成講習会の実施、各役員の確保や配置等の業務を行った。 大会本番においては、円滑な競技進行を支える中核的存在として、全国から集う選手・関係者が最大限の力を発揮できる環境を整え、大会の成功に大きく貢献した。
澤谷隆成（さわたに たかなり）	島根県立大東高等学校 教諭 （レスリング担当）	
杉谷祐次（すぎたに ゆうじ）	島根県立松江商業高等学校 教諭 （バレーボール男子担当）	
山上　隆（やまがみ たかし）	島根県立浜田高等学校 （定時制・通信制課程） 教諭 （体操競技担当）	
山口崚介（やまぐち りょうすけ）	島根県立島根中央高等学校 教諭 （カヌー担当）	
山本早苗（やまもと さなえ）	島根県立出雲工業高等学校 教諭 （なぎなた担当）	

（注）上記の掲載順は、五十音順による。（ただし、「表彰の理由」が同じ者は、その中で五十音順による。）

令和７年度

優秀指導者表彰

全国規模の大会において３位以上の成績を収めた、本県所在の公立学校に在籍する児童生徒を指導する教職員、計８名を表彰する。

氏　名	所属名・職名	大会等の名称	成績
石原起人（いしはらおきと）	島根県立出雲農林高等学校 実習助手	令和７年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 カヌースプリント 男子カナディアンフォア200m	１位
伊藤直登（いとうなおと）	島根県立横田高等学校 教諭	令和７年度全国高等学校総合体育大会 ホッケー競技大会 ホッケー競技男子	１位
今林亜美（いまばやしあみ）	島根県立浜田高等学校 講師	第72回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト 創作テレビドラマ部門	準優勝
岡田真（おかだまこと）	島根県立出雲工業高等学校 教諭	令和７年度全国高等学校総合体育大会 自転車競技大会 スクラッチ・レース	３位
恩田賢二（おんだけんじ）	島根県立横田高等学校 教諭	令和７年度全国高等学校総合体育大会 ホッケー競技大会 ホッケー競技女子	３位
膳棚大剛（ぜんだなひろたか）	奥出雲町立横田中学校 部活動指導員	ＪＯＣジュニアオリンピックカップ 第55回全日本中学生ホッケー選手権大会 男子	３位
多久和政徳（たくわまさのり）	島根県立平田高等学校 部活動指導員	令和７年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会 女子800m	２位
堀田育子（ほったいくこ）	島根県立島根中央高等学校 教諭	令和７年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 カヌースプリント 女子カナディアンシングル500m	１位

（注）上記の掲載順は、五十音順による。